

5月12日は「看護の日」

「看護の心」奈良から発信

看護の日に寄せて



公益社団法人
奈良県看護協会会長

春木 邦恵

看護協会は、日本看護協会(本部・東京都原宿)を中心に、全国47都道府県に展開し、保健師・助産師・看護師・准看護師等の有資格者により構成される自主的な看護職能団体です。現在、会員数は全国で約72万人、奈良県内では約9200人となっています。主な活動

多くの人々の幸せに貢献したい

口が急減し、85歳以上の高齢者増加による高齢化率の上昇が見込まれています。同時に、慢性的な人材不足が予測される医療・福祉分野においては、技術革新およびデータ

医療・看護・介護のモデルも変容することが示唆されています。日本看護協会「看護職の倫理綱領」前文では、人間の尊厳保持と健康・幸福への希求という普遍的ニーズへの

一方、文部科学省調査(高等教育の将来構想に関する基礎データ)によれば、2025年には看護職員需給ギャップが7万~20万人に拡大する

奈良県には、東大寺や奈良の大仏を建立した聖武天皇の皇后・光明皇后が自ら皮膚病の方の体を洗うなど、病人や貧しい人に奉仕活動を行ったとした逸話が伝承されています。光明皇后は、信心深

2040年には生産年齢人口が急減し、85歳以上の高齢者増加による高齢化率の上昇が見込まれています。同時に、慢性的な人材不足が予測される医療・福祉分野においては、技術革新およびデータ

活用を軸としたデジタルトランスフォーメーション(DX)が不可欠となりつつあります。また、多様性(ダイバーシティ)および包括性(インクルージョン)が社会価値

対応を看護の基本的使命と明記しています。また、看護の目標は、生涯にわたる個々の人生の質向上であり、対象範囲は病気を抱えている方に限らず全ての人々、そしてあらゆる地域へと拡大していま

見込みです。人生100年時代に向けて、健康維持と就労継続を支える看護職の役割は従来以上に重要性を増します。看護職能団体として、看護職の必要性和社会的必要性への理解促進を強く求めま

く慈悲深い人物とされ、その史実から奈良は「看護の発祥の地」とも称されています。この歴史的背景を踏まえ、奈良の地から「看護の心」を発信し、多くの人々の幸せに寄与していきたいと思

看護の日は毎年5月12日では「看護の日」として独自の、看護や助け合いの心を育むために制定された記念日です。

概要

「看護の日」は近代看護教育の母とされるフロレンス・ナイチンゲールの誕生日(5月12日)に由来し、1990年に旧厚生省(現厚生労働省)によって制定されました。目的は、看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むきっかけとすることです。また、国際的には1965年から国際看護師協会(ICN)が5月12日を「国際看護師の日」と定めています。(日本

フロレンス・ナイチンゲール(Florence Nightingale)は、19世紀に医療改革を行ったイギリス人看護師です。クリミア戦争において、看護師団の団長として戦地に赴き、負傷兵の治療に尽力し、戦地での活躍ぶりは話題と人々から「クリミアの天使」と称されるようになりました。

ナイチンゲールは、世界初の看護師訓練学校を設立し、教育者としても優れた能力を発揮し、医療・看護分野の改革にも貢献し、現代にまで影響を与えています。

「看護の日」制定

看護の心をみんなの心に

2026年度の看護週間は5月10日(日)~16日(土)です。本年のテーマは「見つめる、その先のわたしへ」。日本看護協会は、若い世代に看護の魅力を伝える取り組みに力をいれています。少子高齢化が進む中、看護人材の確保は重要な課題です。奈良県看護協会も多様な活動を通して、県民の関心を高めていきます。



奈良県病院協会看護専門学校

災害時の迅速な医療対応を学ぶ

学生らは、学校での実習や県の訓練を通じて、トリアージの記載要領や方法を学んでいる。

近畿ブロック合同訓練では学生が、トリアージを受ける傷病者側の立場で参加している。

トリアージとは大規模災害や火災、爆発、交通事故、集団食中毒など短時間で発生する多数の傷病者に対し、迅速かつ適切な医療対応を行うための技術で、限られた医療資源の中、一人でも多くの命を救い、社会復帰率の向上に貢献するために実施される。

26日に高取町のたかとり健康の森公園及び高取バイパスで行われた、大規模地震災害を想定した訓練では、地震発生前の長雨による地盤のゆるみから土砂災害も同時発生する設定の下、

多職種が連携し トリアージ方法

昨年10月25、26日に行われた令和7年度緊急消防援助隊

現場では、看護師やDMAT隊員など多くの職種が、チームとして迅速に的確な状況把握を行っており、学生らは、多職種連携を学ぶ日々の講義が災害看護にも通じると理解した様子だった。

救助される側 する側を経験

また昨年12月には橿原消防署と連携して多数傷病者対応訓練を行い、県の訓練と合わせて、救助する側とされる側の両方の立場を経験する機会を得ている。

学生は、これらの経験を通じて、いつ助けが来るのかという救助者の不安や、いつ来るかわからない災害に対する看護を学び、将来看護師となった時に活かされることを期待されている。

県病院協会看護専門学校が要救助者役を担った



7月12日、8月22日にオープンキャンパス今年度のオープンキャンパスは7月12日(日)、8月22日(土)の午前9時から正午まで、同校で開催される。事前申し込み制。



橿原消防署との連携による講義

未来を支える看護のちから

心と体の両方に 寄り添う看護を

西の京病院

近年増加の一途をたどる生活習慣病の一つにあげられる「肥満症」は、命に関わる深刻な健康障害の可能性がある病気です。肥満症は単なる怠慢ではなく、生理的、医学的なメカニズムが深く関わっているため、個人の意志や努力だけでは解決しにくい疾患です。

当院では一昨年より、多職種連携によるチーム医療を中心に、肥満症外来を開設しました。現在60名を超える患者様がおられます。患者様一人一人の生活背景や価値観に寄り添いながら対話を重ね、一緒に健康管理について考え、継続可能な減

「肥満症外来」開設、減量をサポート

量支援をサポートしています。

通院を継続し、10割以上減量に成功された方が10名を超えました。食事内容をアプリに記録しながら工夫を重ねる方、運動習慣が身につく「できごとが増えてきた」と、笑顔で報告して下さる方など、前向きな変化を実感する場面が増えています。

単なる体重減少だけでなく、健康的な生活習慣の定着と自己管理能力の向上を目指し、患者様に寄り添いながら、共に歩む外来看護を行っています。

ナースセンター

奈良県ナースセンターは「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、県看護協会が県から指定を受けて運営し、看護職の確保対策を実施しています。

内容▶無料職業紹介事業、看護職復職応援、就職相談・進学相談、看護学校進学ガイダンス、セカンドキャリア応援、看護補助者お仕事見学、「看護の心」普及事業(看護の日・看護週間イベント、ふれあい看護体験、看護の出前授業)

◆看護職復職応援事業

県内の医療機関への復職を希望する看護職を対象に、知識や技術の研修を実施します。協力医療機関での見学・実習もあります。

・2026年度は、2026年6月～2027年1月に、講義5日間(10講座)、演習3回(採血、喀痰吸引など)、病院・施設・訪問看護ステーションでの実習を実施。すべて選択受講できます。詳細は奈良県看護協会ホームページへ。

◆看護職就職相談・進学相談

ナースセンターとハローワークで、経験豊かな看護職の相談員が対

応じます。

相談日時

●奈良県ナースセンター
月～金曜日(祝日を除く)
9時～16時30分

●各ハローワーク
○ハローワーク奈良
(奈良市法蓮町387)

第1月曜・第2土曜
13時～16時30分

○ハローワーク大和郡山
(大和郡山市観音寺町168の1)

第3月曜 13時～16時30分

○ハローワーク大和高田
(大和高田市池田574の6)

第2・4火曜
13時～16時30分

★ハローワークでの相談は、ナースセンターまでご連絡ください。

電話0744(25)4031

◆看護学校進学ガイダンス

中学生、高校生、進路指導担当
者、社会人を対象に、県内の看護系

大学・養成所による進学ガイダンスを年1回開催しています。看護職の魅力や看護の資格、進路について看護職や教員から直接話を聞くことができます。

・2026

◆ふれあい看護体験

7月27日(月)～8月21日(金)に県内の協力病院で中学生以上の県民を対象に実施します。

施設見学や看護現場の体験、医療スタッフとの交流を通して看護への理解を深める。

・2026年度の申し込みは、5月11日(月)～6月5日(金)。詳細は奈良県看護協会ホームページへ。

◆看護の出前授業

県内の小・中、高校などに看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)が訪問し、「いのちの大切さ」「ここからだ」「看護の仕事」「看護職になる方法」などを、経験談や模擬体験を交えて伝えます。

・2026年度は、学校単位で申込を受け付けます。詳細は奈良県看護協会ホームページへ。

◆セカンドキャリアナースの応援

定年後も看護職としての経験・能力を生かし、社会貢献や新しい分野への挑戦も視野に入れる働き方やセカンドライフにおける情報提供などの内容で50歳以上の看護職を対象に研修会を実施します。2026年度は2027年2月の予定です。

定年退職予定者や退職後の就業希望者を対象に、今までのキャリアを生かした働き方や、求人施設を紹介いたします。

◆医療現場で働く看護補助者の人材確保

看護補助者の経験のない方を対象に、ハローワークと連携して人材確保を進めています。看護補助者のお仕事わかる「オンデマンド研修」や職場見学を実施します。興味のある方はナースセンターへ電話またはメールでお問い合わせください。



看護週間 5.10日-5.16土

【主催】厚生労働省/日本看護協会
 【後援】文部科学省/日本医師会/日本歯科医師会/日本薬剤師会/全国社会福祉協議会/日本病院会/全日本病院協会/日本医療法人協会/日本精神科病院協会/全国自治体病院協議会/日本助産師会/日本精神科看護協会/日本訪問看護財団/全国訪問看護事業協会/全国老人保健施設協会/全国老人福祉施設協議会/日本労働組合総連合会/さくらあい西京老人福祉センター-COML
 【協賛】テルモ(株)/東洋羽毛工業(株)/ナガイレーベン(株)/パラマウントベッドホールディングス(株)
 2026年「看護の日」看護週間

【問い合わせ】

公益社団法人奈良県看護協会
 奈良県ナースセンター
 (看護職無料職業紹介所)

〒634-0074 橿原市四分町252の1
 TEL 0744 (25) 4031
 FAX 0744 (24) 7703
 E-mail:nara@nurse-center.net
 URL:https://www.nara-kango.or.jp/